

令和元年度第1回
学校関係者評価報告書

学校法人一川学園

専門学校

越生自動車大学校

1 学校関係者評価委員会開催概要

- 1) 会議名：令和元年度 第1回学校関係者評価委員会
- 2) 開催日時：令和元年7月26日（金）15：30～17：00
- 3) 場所：専門学校越生自動車大学校 学生ホール1階相談室
- 4) 出席者：学校関係者評価委員
吉澤 操（元越生町教育委員長）
奥泉政美（保護者・本校後援会副会長）
秋山 浩（埼玉スバル株式会社 執行役員総務部長）
今井和一（ネッツトヨタ東埼玉株式会社 人事部長）

学校側（事務局）

- 一川高一 学校法人一川学園 理事長
- 市川剛士 専門学校 越生自動車大学校校長
- 市川治子 専門学校 越生自動車大学校事務長
- 新井 司 専門学校 越生自動車大学校教育部長

2 委員会次第

- 1) 開会・挨拶
- 2) 各委員の自己紹介
- 3) 議事
 - ①前回の委員会での指摘事項改善報告
 - ②平成30年度自己評価をもとに外部評価の実施
 - ③学校行事参観について
- 4) 学校の現況報告
- 5) 次回度開催日程について
- 6) 閉会

3 学校関係者評価

学校側より前回の委員会において各委員からの指摘事項の改善状況報告がなされる。

指摘事項の改善状況は、以下のとおりである。

吉澤操委員：評価方法に工夫が欲しい、保護者にも公開して欲しい。

改善内容 次回より個人別評価書を導入する。公表についても7月よりHPで実施している。

石井武委員：財務情報の公開に向け、準備してください。

改善内容 7月よりHPで財務諸表公開している。

奥泉政美委員：学生募集は苦戦しているので、学生が魅力を感じる部活動などを準備して欲しい。

改善内容 予算が厳しい状況であるが、モータースポーツ部等高校生が魅力を感じるイベントを7月29日、8月26日に開催する。

秋山浩委員：自動車整備士が不足している、何とか増加させて欲しい。

改善内容 グループ校からの入学者は、来年度大幅に増加見込みであるが、外部の高校からの入学者は今後の動向を見ないと判断できない。

長谷川泰委員：学生募集は我々も協力する、国家資格は取得して欲しい。

改善内容 平成30年度卒業の2級課程のディーラー就職者は全員2種目合格できた。しかし、1級課程では7人中2名の合格者となり厳しい結果であった。1級課程、2級課程とも100%合格に向け試験対策を9月までに立案する。

続いて平成30年度自己評価をもとに外部評価を実施

今回から、個人別評価書を導入した。各委員の評価は、すべての項目で良との評価を頂くことができた。

尚、各委員の指摘事項としては下記の通りである。

- ・秋山浩委員：留学生の受け入れ体制を確立する必要がある。留学生は都心に集中している傾向があるのではないかと、留学生を集めるには、色々な条件を踏まえ手を打っていく必要がある。
- ・今井和一委員：在学中にもっとクルマを好きにするための方策を考え実行して欲しい。留学生については、授業についていける様見極めて入学させて欲しい。
越生自動車大学校の学生は、怒られても頑張ることができる。学生時代に厳しい指導は、現場に入った時非常に大切である。

最後に、学校側から学校行事に参観して欲しいとの提案があった。

- ・11月に実施予定の「技能コンクール」
- ・1月の新年の集い「新年餅つき」

以上の行事は、学生達の学習成果を見る事ができる場、豊かな人間性を感じられる行事となっているので参観して欲しいとのこと。各委員からは、都合がつけば出席するとの回答を得る。

4 学校の現況報告

校長より、近況報告を実施。

5 次回開催日の確認

令和元年12月24日（火）15：30～17：00

6 閉会

令和元年度第2回
学校関係者評価報告書

学校法人一川学園

専門学校

越生自動車大学校

2019/12/25

1 学校関係者評価委員会開催概要

- 1) 会議名：令和元年度 第2回学校関係者評価委員会
- 2) 開催日時：令和元年12月24日（金）15：30～17：00
- 3) 場所：専門学校越生自動車大学校 学生ホール1階相談室
- 4) 出席者：学校関係者評価委員
奥泉政美（保護者・本校後援会副会長）
秋山 浩（埼玉スバル株式会社 執行役員総務部長）
今井和一（ネッツトヨタ東埼玉株式会社 人事部長）

学校側（事務局）

- 一川高一 学校法人一川学園 理事長
市川剛士 専門学校 越生自動車大学校校長
市川治子 専門学校 越生自動車大学校事務長
新井 司 専門学校 越生自動車大学校教育部長
田村明洋 専門学校 越生自動車大学校教務課長（書記）

2 委員会次第

- 1) 開会・挨拶
- 2) 各委員の自己紹介
- 3) 議事
①前回の委員会での指摘事項改善報告
②令和元年度前期授業公開保護者アンケート集計報告について
③分掌別中間評価・自己点検中間評価について
- 4) 学校の現況報告
- 5) 次回度開催日程について
- 6) 閉会

3 学校関係者評価

学校側より前回の委員会において各委員からの指摘事項の改善状況報告がなされる。

- 1) 留学生の受け入れ体制の確立について
創立60周年にあたる2,022年度から、定員20名（修業年限1年）の新学科を設置する。現在、カリキュラム編成と共に学生寮などの検討に入っている。

- 2) 在学中にクルマをもっと好きになる指導をして欲しいと言う指摘については、次年度より外部講師による技術講習会を増やし、且つ様々なメーカーのクルマに触れることにより、自動車の魅力を感じられる授業としていく。
 - 3) 就職してから頑張れる、怒られても頑張れる学生を育成して欲しい、この指摘事項は非常に難しい問題ではあるが、担任、学科長外全ての教職員が学生に接する時、常にこの問題を意識して指導にあたる。
 - 4) 授業公開日は、1日では保護者の都合が見つからないことが多いので、週間をとおして、いつでも授業が見られるようにしてもらいたい。次年度から実施できるよう計画する。
 - 5) 保護者アンケートは、「先生を攻める材料でなく」「より良い授業作りの材料」という意識で活用してもらいたい。教職員全員の意識統一を図り活用していく。
- 4 学校の現況報告
校長より、近況報告を実施。
 - 5 次回開催日の確認
令和2年7月22日（水）15：30～17：00
 - 6 閉会